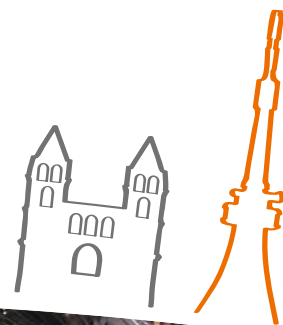




街なかのにぎわい復活へ

宇都宮のシンボル、まちの顔である中心市街地。
最近、街なか元気になった、楽しくなってきたという声が、
聞こえてくるようになってきました。
あなたはどのように感じていますか？
今回は、かつての活気が戻りつつある街なかの「今」と「これ
から目指す姿」を紹介します。



もっと深く

広報 **うつのみや+**

宇都宮情報

テーマに対するご意見を
アイデア通信(7ページ)
でお寄せください。

「愉快的な街なかに行ってみよう！」



**3x3 ワールドツアー
うつのみやマスタース**

今年はずいぶんクラブ
「世界一決定戦か」
宇都宮で開催!



経済効果
約4億5,700万円
来場者数
約6万7,000人

H30.10/20

来場者数
約5万人

日本で最初に街なかを
舞台に開催された
自転車レース!

**ジャパンカップ
クリテリウム**



バンバひろば

餃子マンホールや
隠れ餃子も!



大通り



来らっせ

ドン・キホーテ

イベントも多い
街なか散策も
楽しいね



オリオン通り

パルコ

バンバ通り



屋台横丁



皆さんを乗せて
街なかへ!!



日野町通り



夜

四季折々の
憩いの空間

釜川

昼

餃子まつり



H30.11/3・4
来場者数
約15万人

宇都宮城址公園

**循環バス
きふな**

ページ番号
1006069

JR宇都宮駅西口
(38番乗り場)から、
二荒山神社・県庁・オリオン通り入口・市役所・宇都宮城址公園など、
中心市街地を巡ることができます。
▽運行 20～30分ごと。
▽費用 1回の乗車に付き170円(小学生は90円)。

2

週末を中心としたにぎわい
本市では、これまでオリオンスクエアやバンバひろば、宇都宮城址公園といったイベント広場を整備してきました(※1)。イベント広場は、行政だけではなく、市民の皆さんや民間事業者が広く活用できるよう、さまざまな工夫を行ってきた結果、街なかのオリオン通りとその周辺では、今では毎週のようにイベントが開催されるよう

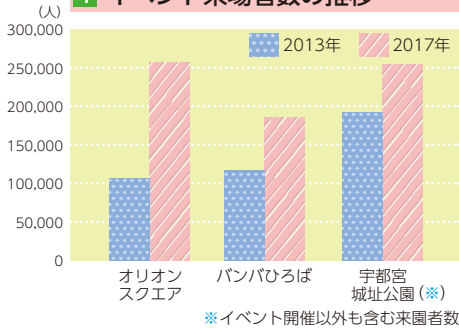
にぎわいは今!?
宇都宮の顔として、市全体の発展に大きな役割を担ってきた「中心市街地」。家用車の保有率が高く、道路交通網も充実している本市では、近年、人の流れなどが中心市街地から大型ショッピングモールのある郊外に移っていきました。しかし、一時は消えかけていた「街なかのにぎわい」が、ここ数年、大型イベントの開催や魅力的な店舗の出店など、地元商店街や民間事業者の多くの人の知恵と努力によって、かつての活気を取り戻しつつあります。ぜひ、皆さんも街なかへ足を運んでみてください。

※1 □オリオンスクエア 平成18年度に供用開始、平成23年度に大型映像装置を設置。平成29年度は年間271日の稼働□バンバひろば 平成19年度に東側広場、平成23年度に西側広場供用開始。平成29年度は年間97日の稼働□宇都宮城址公園 平成18年度から歴史建築物がある公園として供用開始。市の主催イベントを中心に大規模イベントを開催。

街なかのにぎわい復活へ

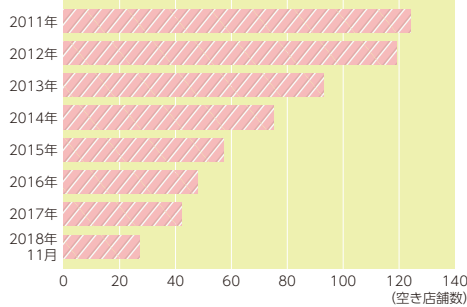
Check! 毎週のように開催されるイベントで
来場者数が大幅に増加!

1 イベント来場者数の推移



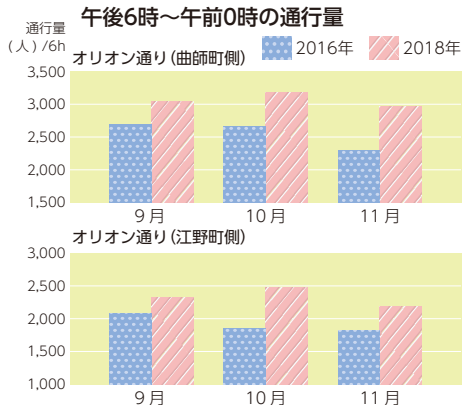
Check! 補助制度(※2)が活用され
空き店舗が大幅に減少!

2 空き店舗数の推移



Check! 魅力ある店舗が増え
夜間の通行量が増加!

3 通行量の推移



▽出典 宇都宮市

モダンな街並みが残る
馬車道通り



みやの盆踊り

若者に人気
オシャレが集う

028 商店街



ユニオン通り

こちらも
チェック

もみじ通り

東武宇都宮線・東武宇都宮駅
から300m
オシャレなカフェや
レコード店、美容室、
雑貨屋などが並び、知
る人ぞ知る穴場ス
ポット。

もみじ通り



北関東最大の祭り
宮まつり



H30.8/4・5

来場者数
約55万人



アーケード内の
オープンカフェは
日本初!

夜 **オリオン通り**



宇都宮の魅力を
体感できる!
アンテナショップ
宮カフェ

馬車道通り

東武宇都宮
百貨店

街なかの
情報発信!
ニュース
カフェ

NEWS CAFE



多様な魅力ある
ステージイベントの開催!
オリオンスクエア



これまででは夕暮れ時から閑散としてしまう人通りでしたが、街なか
に数多くあった空き店舗(2参照)
が魅力的な飲食店に生まれ変わり、
特に週末の夜にかけてにぎわうよ
うになってきました。昨年度から
設置している通行量自動測定器の
調査結果によると、週末の金・土
曜日の夜間の通行量は、平日の昼
間と同水準となり、夜の通行量は
増加傾向にあります(3参照)。ま
たオリオン通りでは、新規出店す
る店舗の多くが、オープンカフェの
取り組みにも参加し、各店舗で工
夫を凝らした休憩スペースが設置
され、昼夜を問わず、街なかの風
景を楽しみながら、買物の疲れ
を癒したり、ゆっくりと飲食した
りする人の姿が増えています。

夜間を中心としたにぎわい

になり、特に週末を中心に、市内
外から多くの人が集まるようにな
りました(1参照)。さらに、オリ
オン通りや釜川などの公共空間を、
魅力的に演出するイベントの開催
などの取り組みも広がっています。
これらの取り組みにより、週末を
中心に街なかに人々が集い、交流
し、憩いとにぎわいの場が生み出
されています。

※2 中心商業地新規出店等促進事業補助金 小売業、飲食業などで大通りやパンパ通りなど中心商業地の空き物件への出店者に対し、その内外装改造にかかる費用などの一部を補助します。対象区域や補助費用など、詳しくは、商工会議所(☎http://www.u-cci.or.jp/finance/sinkisyutten/)をご覧ください。☎商工振興課(632)2434、商工会議所(637)3131

これからは「平日昼間」の強化がキーポイント

週末や夜間のにぎわいが戻りつつある中、今後、課題となってくるのが、「平日昼間のにぎわい」です。

現在、街なかではマンションの建設が続ぎ、街なかで日常生活を送る人が増えています。

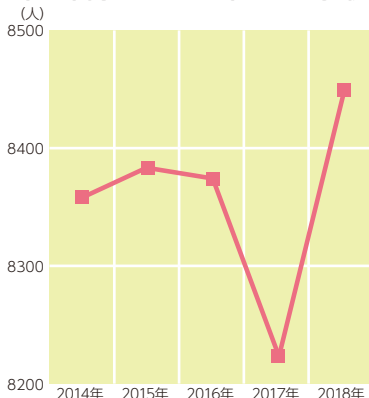
今後は街なかで日常生活を送る人たちが、「どんな生活を望んでいるのか」「便利で楽しい生活ができるのか」など、日常生活を快適に過ごすための取り組みや、街なかに来るすべての人も憩える空間づくり、歩いてみたくなる景観づくりなどの仕掛けづくりが「鍵」となってきました。

また、本市が目指すネットワーク型コンパクトシティ(※1)の核である街なかを、魅力あるエリアやスポットが数多く集まる「宇都宮の顔(シンボル)」としてふさわしいまちに近づけていくことが必要です。

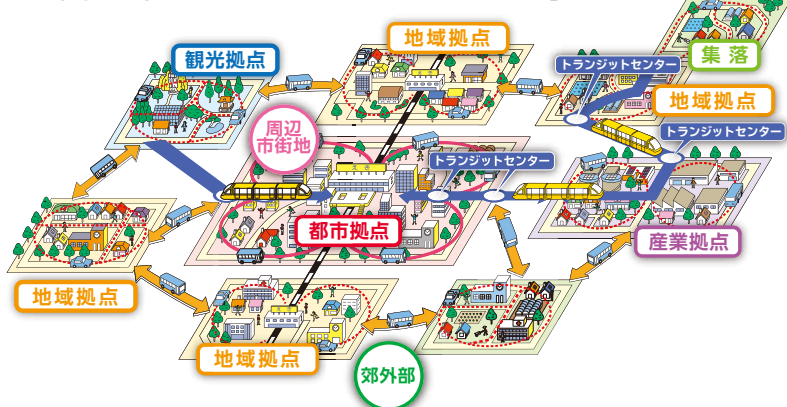


▲大手地区再開発事業

中心市街地(※2)の居住人口の推移



▼本市が目指す「ネットワーク型コンパクトシティ」のイメージ



これからの街なか

本市が進める主な取り組み



魅力ある都市空間を目指し街なかをもっと愉快地

中心市街地では、低・未利用地(駐車場・空き地・空き家・空き店舗)などが虫食い状に増加しています。

こうした土地にマルシェや憩いの空間を生み出し、魅力あるスポットとしていくための方策を検討しています。

今後、魅力あるスポットを数多く生み出し、エリアに広げていき、街の景観の連続性やにぎわいのある都市空間を目指していきます。

📍地域政策室 ☎(632) 2108

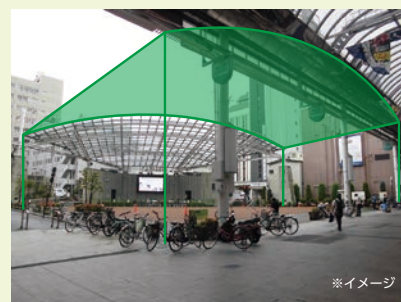


ユニオン通りがもっと魅力ある商店街に

個性的で洗練された店舗が多いユニオン通り。最近では「028商店街」が季節ごとに開催され、魅力的なストリートは交流を生んで、ますますにぎわい、新たなファンを呼び込んでいます。

現在は、電線の地中化や景観に配慮した舗装など、ゆとりある空間をつくり出すための整備を進めています。訪れる人はもちろん、生活する人も楽しめる魅力ある商店街にしていきたいです。

📍道路建設課 ☎(632) 2501



オリオンスクエアが全天候に対応し快適に

オリオンスクエアは、世界規模のスポーツやアニメ、ジャズライブ、グルメなど、宇都宮の魅力的なコンテンツを発信し、訪れる人を楽しませるスポットです。

これからは、雨の日でも、主催者や訪れる人が快適に利用でき、より魅力的なイベントが円滑に開催できるよう、屋根をオリオン通りまで延長し全天候型に対応したスポットに生まれ変わります。

📍商工振興課 ☎(632) 2433

※1 ネットワーク型コンパクトシティ(NCC)とは、今後、人口減少や高齢化が進む中で、自動車がなくても自由で快適に移動できる公共交通を使いながら、中心部や身近な地域のコンパクトな拠点などで、安心して便利に暮らせる魅力あるまちのこと。
 ※2 本市が重点的に活性化に取り組む計画区域168ha。


にぎわいのある街へ

それぞれの場所でツナガル想い



宇都宮の街なかで活躍する市民の皆さんに街なかへの想いを聞きました。


やっぱりこの街が好き!
宇都宮への熱い想いが
街のにぎわいを
作っています。



ブルーマジック
店長 **中尾 真仁** さん

街なかで、クラフトビールの醸造所と専門店を営んでいます。実は街なかには、おいしい飲食店がたくさんあることが意外に知られていません。うちのお店では、おつまみの持ち込みもできますし、市内外から来るお客様には、周辺マップで案内し、さまざまな飲食店を紹介しています。クラフトビールをきっかけに、街なかを散策してみませんか。きっと新しい魅力が発見できますよ。


宇都宮の
新情報発信
基地



バンパひろばやオリオンスクエアなど街なかのイベントが増え、その動線となるオリオン通りは、週末や夜間を中心に活気が戻ってきました。時代が変化する中でも、商店街には、人と人とのつながり、遊び場、飲食など、目的プラスアルファの楽しさが変わらずあります。オリオン通りは古くから、素敵なお店がたくさんあるんですよ。知らないなんてもったいない。まずはイベントなどで街なかに立ち寄った際に、少し散策してみませんか。きっとまた来たくなくなりますよ。

宇都宮中心商店街活性化委員会
副理事長 **長谷川 正** さん

遊び・交流・生活
毎日が楽しい街



ユニオン通りでフリーマーケットを中心とした、ユニオン通り028商店街を企画しています。社内の若手とユニオン通りの店主を中心に企画し、イベントと街の融合をコンセプトにしています。知る人ぞ知るイベント限定のコラボ商品やインスタ映えするスポットなど街をフルに使うことで毎回違った楽しみ方ができるよう工夫しています。次はどんなイベントになるか私たちがワクワク。ぜひ遊びに来てください。


ユニオン通り028商店街実行委員
新朝プレス **鈴木 美春** さん

古くて新しい
街と調和した
028商店街

大人も子どもも楽しめるイベントの開催に力を入れています。ただ、商店街単体での活動では限界がきているのが現状。私たちが主催する盆踊りでは、他のイベントと開催日を合わせ、より多くの人が街なかを歩きながらいろいろな場所で楽しめるように各商店街と協力しています。平日や昼間に安定的に人が集まるようなイベントも企画したいと思っています。ぜひ、ふらっと立ち寄ってみませんか。

宇都宮中心商店街みやヒルズ活性化委員会
会長 **沢根 伸一** さん


街なかで
あくあくを
感じて欲しい



コミュニティFM ミヤラジ
局長 **稲葉 克明** さん

宇都宮に住んでいるのに、地元の情報を知らないなんてもったいないという思いから、地域の旬な情報をリアルタイムで伝えることをモットーに、街なかにミヤラジを開局してもうすぐ2年。コミュニティFMは、地域に密着した情報をパーソナリティや地域の人々が生産し、新鮮なうちに地元の人が消費できるところに強みがあります。私たちはこれからも、地元の新鮮な情報を発信・盛り上げるメディアとして、貢献していきたいと思っています。

情報の地産地消
地元の旬を
めしあがれ



高度経済成長を支えた屋台。出店している23店舗は、そんな昭和レトロを感じさせるたたずまいで、皆さんをお迎えしています。時代は変わっても、お客さん同士の一期一会の出会いや地域への協力を大切にしています。いつものところにいつもある、家に帰ってくるような、そんなほっとする雰囲気、きっと心も体もあたたまりますよ。どんなときでも私たちは、あなたの「ただいま」に「おかえり」と「笑顔」で応えていきます。

宇都宮屋台横丁
右から **枝野 ちえ** さん **明美** さん

移り行く街
居心地の
良い屋台

◎都市拠点などに住む人の家賃や住宅取得費用の一部補助 1家賃補助 ▽家賃補助 ▽住宅取得
対象 市外から転入の40歳未満若年夫婦や子育て世帯、市内外の新卒採用者
など▽補助額(上限) 市外在住者=12万円、市内在住者=6万円。2マイホーム取得支援事業補助 ▽対象 都市拠点などに住宅を取得する世帯▽補助額(上限) 市外在住者=60万円、市内在住者=30万円。■その他 詳しくは、市庁舎を閲覧になるか、住宅課☎(632)2735へ。

ページ番号 1015797
ページ番号 1015795

県都の顔として中心市街地が 活性化していくためには

活気が戻ってきた街なか

宇都宮は、JR線・東北新幹線、東北道・北関東自動車道が通る交通の要衝であり、人の流れを作りやすいという優位性は大きいと思います。

加えて、街なかには、医療・教育・福祉施設、スポーツ・文化・観光といったコンテンツが整ってきていることから、市全体の総合力が発揮され、街は活気を取り戻しているのではないのでしょうか。

中でも、3X3やジャパンカップクリテリウムという世界大会規模の大きなイベントが街なかで行われるのは非常に意味のあることです。集客効果のあるイベントが数多く開催されるようになり、文化・観光面の魅力が増加して街が盛り上がっているというのは素敵なことです。

これから求められるもの

中心市街地は、県都の顔です。さらに活気ある街にするため、

力を入れていくべき点として、私は「居住」だと考えています。

中心市街地の居住人口を増やしていくには、利便性の向上はもちろん、「交流」をキーワードとして、これまでにない、他の都市との差別化を図れるような新しい機能を創造していくことが課題です。

まずは、JR宇都宮駅や東武宇都宮駅、オリオンスクエア・宇都宮城址公園といった、来訪者や市民が立ち寄る地点と日本遺産に認定された大谷石文化を感じられる松ヶ峰教会、駅東口のコンベンション地区などの魅力ある地点をつなげ、面として回遊性を高める環境作りが重要だと思います。「歩いて楽しめる街」は、活気ある都市の基礎でもありますからね。

行政は、将来を見据えた都市像を示し、そのビジョンを市民が共有し、企業も含めた三者が連動していくことで、新しい機能の創造が可能となるのではないのでしょうか。

取材を通して気づいた 宇都宮の可能性

人と街が温かい 宇都宮

宇都宮は、新しい街並みの中に歴史や文化を感じる場所も残っていて、古いものと新しいものがうまく融合できている街なのかな、と思います。始めは大人しい人ばかりなのかなと感じましたが、接していくと親切な人が多く、家族みたいに迎え入れてくれる温かい空気を感じます。

にぎわいをつくれる
お店同士の関係性

街なかの取材をしていると、街の景色や懐の深い人柄に加え、特色あるお店の多さに、宇都宮のポテンシャル（能力）の高さを感じます。ジャズやカクテルを一緒に楽しめるなど、一人でも楽しめたりする店が多いのも、市外から来た私にとってはおうれしいですね。昔から宇都宮の街なかを支えているお店も、新しく出店したお店も、個々のお店が信念を持ってそれぞれの役割



たり 多里 まりなさん

●下野新聞宇都宮まちなか支局 記者
3年前に就職を機に、京都府から栃木県に移住。
二荒山神社から、見下ろす街並みがお気に入り。

を果たしながら、努力しているのを感じます。お店同士の仲間意識が強く、「それならあのお店で」「このお店もおいしい」とお互いのお店を紹介して街なかの回遊やにぎわいにもつながるような関係が自然にできているって、とてもすごいことですよ。

ここにしかない持ち味を生かし
積極的に発信を

せっかく特色があるお店やイベントをやっているけど、自身自身でその魅力に気付いていなかったり、「自分のお店なんてそんなに」と言って十分に情報を発信できていなかったりすることが多いと感じます。ヨソ者か



すか
須賀 英之さん

- 宇都宮まちづくり推進機構 理事長
- 中心市街地活性化協議会 会長
- 宇都宮共和大学・宇都宮短期大学学長



▲学生にも日常的に街なかで交流・活動できる機会を設けたり、「まち」を教材として学んでもらったりしています。

街づくりの主役は市民

街づくりの主役は、やはり「市民」。私は、「住む」「働く」「楽しむ」が一体的にできる街こそ、理想だと思っています。そして、市民一人ひとりが街に誇りを持って愛するとともに、街にきた人・移住してきた人を仲間として温かく受け入れるホスピタリティが大切です。宇都宮には、発展できる可能性がたくさんあります。利便性の向上に加えてコンベンションなどの新たな都市機能の充実にも力を入れることで、県都の顔としてよりふさわしい街なかになることを期待しています。

7

アイデア通信

街なかのにぎわいについて私はこう考えます

1 あなたが街なかに行く目的やきっかけは何ですか？
当てはまる番号に○を付けてください。

- ① 宮まつりなどの大型イベントや街なかで開催される多種多様なイベント
- ② 街なかにはかないブランドや専門店などでの買い物や飲食
- ③ 大谷石文化や歴史を感じられる街並み・施設
- ④ その他

[]

2 今後、さらに街なかのにぎわいを作り出すために、あなたが必要だと思うものは何ですか。

[]



らすれば、こんなに楽しいお店やイベントがあるのに、宇都宮の人がどこにどういうお店があるのか分かっていないのはもったいないと思っています。

そのため、市外の人に街の魅力を知ってもらうためには、横のつながりを生かし、自分たちのお店やイベントの特色を積極的に発信するのが効果的だと感じます。潜在的な能力が高い宇都宮のこれからの街づくりにとっても期待しています。私も、住み慣れてきた宇都宮の魅力を伝える一人として、発信を続けたいです。

あなたの意見をお寄せください

市民の皆さんから、「街なかのにぎわい復活へ」についての意見・提案をお受けします。寄せられた意見・提案などは、施策の参考とします。なお、一部を後日、広報紙で紹介します。質問などへの回答は、直接本人あてに返信しませんので、ご了承ください。

左のはがき(切手不要)を切り取り、2月11日(月・祝)までにポストに投函してください。他のはがきや手紙・ファクス・Eメール・市ホームページのアンケート(携帯サイト含む)でも受け付けます。

送付先

〒320-8540市役所総合政策部広報広聴課
☎(632)2025、☎(639)0627
Eメール:u2030@city.utsunomiya.tochigi.jp

広報うつのみやプラス「街なかのにぎわい復活へ」についての問い合わせ先
総合政策部地域政策室

☎(632)2108、☎(632)7072
Eメール:u2010@city.utsunomiya.tochigi.jp



▲QRコード
※一部の機種で表示されない場合があります。



前回の広報うつのみやプラス「子育てするなら宇都宮」に対して、25人の市民の皆さんからご意見をいただきました。代表的なものを紹介します。

(1)あなたが「宇都宮市は子育てしやすい」と感じるのはどんなことですか？

- ▽子育てサロンなど、子どもを連れて遊びに行ける場所が多い(今泉新町・30代)。
- ▽妊婦医療の補助がとても助かった(上野町・20代)。
- ▽「赤ちゃんの駅」の表示が分かりやすくて良い(下栗町)。
- ▽保育園に待たずに入園できたこと。
- ▽転勤が多いため、子育て支援施設が多く、情報収集や仲間づくりがしやすいことが、助かっている(元今泉)。
- ▽外遊びができない時に、ゆうあいひろばに孫を連れて行った。遊具もたくさんありスタッフの皆さんにも良くしてもらった(埴田・60代)。
- ▽子ども向けの講座やイベントが充実している(御幸ヶ原町・30代)。
- ▽子どもの医療費が無料であること(菊水町・30代)。
- ▽子育てサロンが身近にあり、親の息抜きになる(西刑部町・30代)。
- ▽さまざまな店があって買い物に不自由しないし、少し車で移動すれば自然豊かな環境でゆっくり子どもと過ごせる(鶴田町・40代)。

(2)今以上に宇都宮市を子育てしやすいまちにするには、何が必要だと思いますか？

- ▽子どもたちは地域での行事(体育祭、盆踊り、学校祭など)を経験することで成長していくので、もっと盛り上げてほしい(御幸ヶ原町・70代)。
- ▽スーパーなどにオムツ取りかえ所などの設置を働きかけてほしい(中戸祭町・30代)。
- ▽育児休暇・時短勤務・在宅ワークなど、男性が育児に協力しやすい環境を推進してほしい(30代)。
- ▽障がい児にもやさしい街づくり(歩道の整備、発達障がいに対応できる専門医の配置など)。
- ▽子どもが障がい児になっても、また、障がい児が成人しても、生きていける可能性と働ける可能性があることを、子ども自身も保護者も信じ続けられるような福祉の充実。
- ▽産後ケアのできる医療機関が増えると助かる。県外からの移住者が多く、頼れる人がいないため、必要とする人も多いと思う(御幸ヶ原町・30代)。
- ▽家庭に問題のある子どもに、経済的な援助だけでなく、自信を付けてあげられるような、地域の見守りの仕組みを作れると良い(鶴田町・40代)。

前回の広報うつのみやプラス「子育てするなら宇都宮」の概要



子どもが減る時代 子育てが難しい時代

本市の人口は、昨年の約52万人をピークに今後は減少していくと考えられています。また、時代とともに子育てを取り巻く環境も変化してきており、育児の不安や負担が大きくなっていることから、これまで以上に適切なサポートが

必要な時代となっています。

全国に誇る 子育てしやすい街 宇都宮

そのような中、平成30年には、日本経済新聞社と日経BP社が実施する「共働き子育てしやすい街ランキング2018」において、本市が全国1位に輝きました。

本市では、不妊治療費助成制度や、産後ケア、保育園入園、病気にかかったもしもの時の病児保育に加え、急用やりフレッシュしたい時など、パパママも子どもも困ることの多いタイミングで子育ての手助けとなれるよう、数多くの事業を展開しています。

広報うつのみやプラスや政策特集は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年に数回編集します。



郵便はがき

料金受取人払郵便



差出有効期間
2020年8月
15日まで

【切手不要】

3 2 0 8 7 4 0

(受取人)
宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)
宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。